



白門板橋

2007. 9. 15 VOL.28

編集
発行

中央大学学員会 東京板橋区支部
〒175-0082 板橋区高島平2-23-3-101 TEL03-3550-3300



■総会のごあいさつ 母校発展のため組織的協力を！

支部長 小日向幸介

* * *

本日の定時総会に際し、多数会員にご出席いただき、有難うございます。また大変お忙しいところ、学校法人や学員会本部からそれぞれ代表者のご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、急速な就学人口の減少に直面しつつも、中央大学では、建学の精神を基軸として、新時代に即応したもろもろの改革を逐次実施し、その実効を挙げつつあります。

また学員会におきましても、卒業生五十万名余の頂点に立って、会員相互の結束を図りつつ、母校発展のため、常時組織的な協力をつづけております。

本日はさらに先生方から、詳細な現状と将来の展望について、直接お伺いする機会を得ることができ、当支部にとつては極めて光栄のことと存じます。

当板橋区支部では、本部のご指導を仰ぎつつ、自主独立の道を歩んでおりますが、本日はその過去一年の業績について、ご承認をいただくことになっております。なにとぞ充分なご審議をお願いする次第です。

なお、先の統一地方選挙に際しましては、会員の皆様からいろいろのご協力をいただき、当支部の団結力の強さを改めて感じました。選出された会員におかれましては、地域社会の経済発展や安全な街づくりのため、真摯な活躍を期待したいと思います。

会員の皆様のご健勝と、支部のいつそこの発展を願って、挨拶いたします。

支部のニュース

七二名が参加して定時総会

第一九回支部定時総会が、六月二二日（金）午後六時から、区立文化会館大会議室で開催されました。

池田幹事長の司会で開会し、始めに物故された二名の会員に黙祷を捧げた後、小日向支部長に挨拶をいただいた後、議事に入り、全五議案が原案通り承認可決され、欠員のあった会計幹事に選任された山田常任幹事の紹介と、支部最高齢の関常任幹事の相談役就任も報告されました。



▲岡田さんのリードで校歌斉唱

またこの秋に開設が予定されているホームページについて、山本幹事からスライドを使った分かりやすい説明があつて閉会。

記念撮影の後、大野事務局長の司会で懇親会へ。石塚前区長（顧問）の挨拶につづいて、来賓の辰馬信男中央大学常任理事と長田繁学員会顧問から祝辞を頂戴し、水野相談役の発声で乾杯！

祝電の披露、初参加者の自己紹介、囲碁同好会からの入会勧誘もあつて宴たけなわとなり、岡田・中三川両常任幹事のリードで、校歌、応援歌、惜別の歌を肩を組みながら斉唱。栗山相談役の中締め音頭で散会しました。（I記）

満開の平和公園で盛大に観桜会

この春の異常気象は寒暖の差が激しく、桜も人間もハラハラ、ドキドキさせられました。支部恒例の観桜会が開催された四月一日（日）は、初夏を思わせる絶好の花見日和に恵まれました。

今回の担当は前野町ブロック。世話人のお三方（吉野・吉岡・笠原さん）の骨折りに、天も味方してくれたのかもしれない。

会場となった平和公園の真ん中には櫓が建てられ、近くの町会などから参加した大勢の人たちが、歌と踊りに興じていました。

正午に参集した我々三六名は、満開の桜を愛でながら記念撮影。近くの割烹「黒船」地下一階の宴会場に三々五々移動して、数々の佳肴とたつぷりのアルコールを堪能しながら、備え付けのカラオケも満喫しました。折からの都議補選に奮戦中の菅東一前区議も駆けつけて、会場の雰囲気は一段と盛り上がりまりました。（金子記）

有志で石塚前区長慰労会開催

板橋白門会の顧問でもある石塚輝雄さんは、平成三年四月から四



▲石塚さんを囲んでの楽しい集い

期一六年に亙り、板橋区長として多くの功績を残して、四月二六日退任されました。

六月七日（木）、常任幹事会を中心にした有志主催で開催された慰労会には、三四名が参加。会場は東武百貨店一五階の「美濃吉」（嵐山の間）でした。

池田幹事長の司会で、小日向支部長の挨拶、巨勢副支部長と三宅事務局次長から記念品と花束の贈呈があつた後、石塚前区長のご挨拶をいただきました。

牧相談役の乾杯の発声で、和やかな雰囲気の中に、慰労会は進行していきました。

区長在任中は、新年会や総会に顔を出されても、アルコールは決して口にできなかった石塚さんも、この日ばかりは、顔も程よく赤みをさし、出席者に酒をついで回るなど、すっかりリラックスしていました。その上、在任中は禁止されていた、多額のご寄付まで頂戴し、出席者全員から盛大な拍手を浴びていました。

今後とも板橋区支部のためにご尽力いただくことをお願いして、散会となりました。（大野記）

母校のニュース

■学員会新会長に久野修慈氏

学員会本部では、任期満了に伴う本部役員の見考が行なわれ、中山正暉氏の後任として、久野修慈氏（「白門」三三六二、元支部長）が新会長に選任されました。

*

また同時に協議員等の選考も行なわれ、板橋区支部からは次の会員が選任されました。

(敬称略)

- ▽協議員 栗原 泰房
- ▽同 平山 惟美
- ▽同 池田 亘利
- ▽同 大野 正浩

■母校一二五周年記念事業

一二五周年事業の寄付金が伸び悩み、都区内支部四位の座から六位に転落したことは、三年前の「白門板橋」でお知らせしました。

直近の集計によりますと、当支部の寄付金合計は四四〇万円、都区内支部九位に低迷しております。小日向支部長の要請にお目通しの上、ご賛同いただける会員各

位には、同封の「振込用紙」のご協力をお願いいたします。

ひとつ、五〇〇〇円（なんりくでも結構です）以上を支部口座にお振込みいただき、支部で一括して大学に寄付します。

*詳細は同封の「母校一二五周年記念事業募金への協力について」を参照ください。

■三大駅伝大会に期待

今年も一〇月から駅伝シーズンを迎えます。中大は三大駅伝(出雲、全日本大学、箱根)の出場権を獲得済みで、エースの上野裕一郎君と成長著しい徳地悠一君が中心となり、箱根を目標に優勝をめざします。また一年生の八人は、いずれも高校駅伝の地方予選で大活躍した選手ばかり。地力もあり、頑張りしだいでは即戦力と期待されている逸材ぞろいです。



▲頑張れ! 箱根駅伝

■高村氏、遠藤氏が入閣 二階氏も総務会長に

八月二七日に発表された安倍改造内閣で、本学出身の二氏が入閣しました。

新防衛相の高村正彦氏は、これまでに法相、外相、経企庁長官を歴任したベテランで、高村派の領袖もつとめています。農林水産相の遠藤武彦氏は初の入閣となりますが、山形県出身、地方を重視する農業経験者でもあります。

また自民党の新三役の一人として、二階俊博氏が総務会長に選任されています。

*残念ながら、僅か一週間の在任で、遠藤氏は辞任しました。三代つづいての農相交代劇は、日本の農業自体が置かれている厳しい状況を、示唆しているのでしょうか。

■高松高検検事長に有田氏

七月一〇日に発令された六高検検事長人事で、白門OBから有田知徳氏（四五年・法卒）が、高松高検検事長に就任しました。かつては複数の検事長を輩出していた中大が、辛うじて面目を保ったところと見えます。

(栗原記)

■大相撲観戦記 熱い声援に三力士勝つ

恒例になった白門出身力士の大相撲観戦(応援)を、去る五月一九日(土)に有志一三名が「白門四一会」と合同で行なった。

一行は、定刻に両国駅前に集合し、抽選で観戦席を確定すると、整然と入館。それぞれ自席に陣取る。

幕下上位の取組からの観戦は予定の行動で、世話役の配る缶ビールのプルを抜いて、二階席からの観戦。椅子席なのも高齢者には評判がいい。

幕内土俵入りを経て、お目当ての幕内三力士の登場。黄色い声援が届いたのか、好調の出島関が格下の宝智山関に完勝したほか、玉春日関は潮丸に、豪風関がベテラン時津海に快勝した。

三力士が揃って勝ったのは初のこと、打ち上げのチヤンコは格別だった。

(平山記)

定時総会決議事項の報告

第一九回・支部定時総会が、去る六月二日(金)午後六時から、区立板橋文化会館の大会議室を会場に、会員七十二名が参加して開催されました。全議案の決議事項を次の通り、二報告申し上げます。

第一号議案

平成一八年度・事業報告

大野事務局長から次の通り報告され、異議なく承認されました。

- ・四月一日(土) 支部観桜会
大山ブロック担当 34名
於/都立養育院
- ・四月一七日(月) パソコン教室 15名
於/区立アイ・タワー
- ・四月一八日(火) ゴルフ同好会コンペ 20名
於/ノーザン錦ヶ原
- ・四月二二日(土) 囲碁同好会月例会 12名
於/西池会館毎月第四土曜
- ・五月二六日(金) 幹事会 37名



▲参加者増加中のカラオケ同好会例会

- ・六月二日(月) 於/区立グリーンホール 定時総会打合せ 7名
於/巢鴨ルノアール
- ・六月一五日(木) 大山ブロック長選出・依頼

- ・六月三日(金) 於/大山・高社郷 7名
 - ・六月二三日(金) 定時総会 72名
於/区立文化会館大会議室
 - ・七月一四日(金) 会報編集会議 6名
於/巢鴨ルノアール
 - ・七月二八日(金) カラオケ同好会 17名
於/レストラン・サンイチ
 - ・八月一日(火) ホームページ研修会 10名
於/区立アイ・タワー
 - ・九月一日(月) 常任幹事会 24名
於/レストラン・サンイチ
 - ・九月一五日(金) 会報発送作業 12名
於/常盤台町会事務所
 - ・一〇月一三日(金) カラオケ同好会 20名
於/レストラン・サンイチ
 - ・一〇月一七日(火) ゴルフ同好会 19名
於/ノーザン錦ヶ原
 - ・一〇月二二日(日) ホームカミングデー 26名
於/多摩キャンパス
 - ・一〇月二八、二九日(日) 秋の旅行・会津 27名
一二月二二日(水) 都区内支部一〇周年記念
ジャズコンサート 30名
於/トリフォニーホール
 - ・一二月九日(土) 支部忘年会
中板橋ブロック担当
於/よし邑 40名
- ▽平成一九年
- ・一月二〇日(土) 支部新年会 58名
於/区立文化会館会議室
 - ・一月二六日(金) 会報編集会議 6名
於/巢鴨ルノアール
 - ・二月二六日(金) 会報校正作業 7名
於/巢鴨ルノアール
 - ・三月一日(木) 都区内支部一〇周年
記念報告会 2名
錦糸町・東武ホテル
 - ・三月十日(土) 観桜会案内発送作業
於/平和ビルサービス 5名
 - ・三月二十日(火) 会報発送作業 8名
於/常盤台町会事務所

平成18年度 収支決算報告書
(自平成18年4月1日～至平成19年度3月31日)

(単位:円)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
年会費	600,000	591,000	総会費	490,000	464,480
総会費	490,000	539,000	旅行会費	885,000	908,570
旅行会費	885,000	884,000	親睦会費	390,000	124,000
			新年会費	490,000	364,460
			忘年会費	250,000	248,340
			常任幹事会費	100,000	76,000
親睦会会費	390,000	124,000	幹事会費	100,000	94,000
新年会会費	490,000	426,000	会報作成費	250,000	249,015
忘年会会費	250,000	244,000	印刷費	50,000	33,690
常任幹事会会費	100,000	72,000	通費	150,000	141,460
幹事会会費	100,000	80,000	会報費	50,000	
受取利息	13,000	9,148	事務所費	60,000	
雑収入		24,500	事務用品費	10,000	
			慶弔交際費	150,000	59,000
前年度繰越金	1,942,514	1,942,514	同好会補助費	80,000	40,000
			手数料	12,000	12,490
計	5,260,514	4,936,162	寄付金	100,000	100,000
			会員増強費	100,000	
			ネット導入費	100,000	
			雑費	30,000	
			予備費	1,413,514	
			次年度繰越金		2,019,657
			計	5,260,514	4,936,162

(注) 紙面の都合で(増減額)及び備考は割愛しました。

平成18年度 貸借対照表
(平成19年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部			負債 正味財産の部		
科目	内訳	金額	科目	内訳	金額
現金		34,966	未払金	「白門板橋」印刷費	111,300
郵便振替口座	3-568829	397,340			
普通預金	黒崎信金・振漢	187,054	次期繰越金		2,019,657
郵便貯金		969,937			
郵便定期貯金		72,000			
前渡金	総会、花見会、常任幹事会、幹事会予約金	63,660			
立替金	慶弔費	6,000			
投資有価証券	大学債残高	400,000			
計		2,130,957			2,130,957

以上の通り決算報告いたします。

平成 18 年 4 月 20 日

支部長 小日向 孝介
会 計 鈴木 裕

以上 支部決算につき、監査の結果、適正かつ適法に表示していると認めた。

監 事 中路 義雄
監 事 関上 裕次
監 事 原原 泰秀

平成19年度 収支予算(案)

(自平成19年4月1日～至平成20年3月31日)

(単位:円)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	備考	科目	予算額	備考
年会費	600,000	2,900 × 200名	総会費	490,000	
総会費	480,000	7,000 × 70名 (12/22)	旅行会費	925,000	
旅行会費	925,000	29,250 × 30名 支部補助 40,000	親睦会費	160,000	
親睦会費	130,000	5,000 × 26名 (4/1)	新年会費	420,000	
新年会費	420,000	7,000 × 60名	忘年会費	250,000	
忘年会費	250,000	8,000 × 40名	常任幹事会費	100,000	
常任幹事会会費	100,000	2,000 × 25名 × 2回	幹事会費	100,000	
幹事会会費	100,000	2,000 × 50名	会報作成費	250,000	女性部発行
受取利息	7,000	大学債案(0)利息他	印刷費	50,000	印刷
			通費	150,000	各旅行事業内
			会報費	50,000	役員会報誌
			事務所費	60,000	
			事務用品費	10,000	
			慶弔交際費	150,000	他支部総会会費及び会員費用
			同好会補助費	40,000	団華、カラオケ、ゴルフ、パソコン
			手数料	12,000	年会費振込料他
			会員増強費	100,000	
			ネット導入費	100,000	
			雑費	30,000	
			予備費	1,624,657	
前年度繰越金	2,019,657		計	6,091,657	
計	6,091,657				

第二号議案

平成一八年度・収支決算報告

鈴木会計幹事から、左表の通り報告の後、中路監事から会計監査報告があり、満場異議なく拍手をもって承認可決されました。

第三号議案

平成一九年度・事業計画(案)

大野事務局長から下記の通り説明があり、満場異議なく拍手をもって承認可決されました。

一、定時総会及び親観会の開催

六月二二日(金)

会場/区立文化会館会議室

二、親睦会の開催

観桜会 四月一日(日) 36名

*平和公園実施済み

旅行会 秋に実施予定

忘年会 年末に予定

新年会 一月に予定

三、他支部との交流

*都区内支部連絡会など

四、中央大学創立一二五周年記念事業への協力

*募金など

五、会員増強運動

*今年も継続して会員増強に

努める。

六、会費納入率アップの推進

七、同好会活動の促進

・囲碁同好会 毎月第四土

・ゴルフ同好会 4・10月

・カラオケ同好会 5・10月

・パソコン同好会 4月

八、広報活動

*会報『白門板橋』の発行

年二回(3月・9月)

*中央大学『学員時報』への寄稿

九、ホームページ開設

十、「ホームカミングデー」に参加協力

十一、支部創立二〇周年記念事業

準備委員会の設置

第四号議案

平成一九年度・予算案

鈴木会計幹事から、左表の通り説明の後、議長から場内に諮られ、満場拍手をもって承認可決されました。

第五号議案

役員一部改選の件

山田節子常任幹事の会計幹事に

補充選任が承認可決されました。

告知板

■秋の支部旅行

支部恒例の秋の旅行会が、山梨県南巨摩郡身延町の下部温泉に決定しました。

貸切バスでグリーンホール(旧板橋産文ホール)横を出発し、二日間にわたって、昇仙峡(紅葉見物ウォーキングと昼食)、武田神社、身延山久遠寺、「甲斐の国・風林火山博」、勝沼ぶどう郷(メルシャン勝沼ワイナリー見学と試飲)などを歴訪する、魅力いっぱい旅行会です。

奮ってご参加ください。



▶ 去年泊まった会津の大川荘

記

日時／一月三(金)・勤労、

感謝の日(二四日土)

午前八時集合

旅行費／二九、五〇〇円

宿泊先／下部温泉 下部ホテル

申込先／近藤、三宅、川崎、鈴木(裕)

期 限／九月三〇日(日)

* 詳細は、同封の要項を参照してください。

■忘年会の日程と会場
今年の忘年会の日程などが、左記の通り決定しましたので、お知らせします。

日時／二月一四日(金)
午後六時から
会場／板橋区高島平九丁目
手打そば割烹「おかだ」
会費／五、〇〇〇円
* 同封の要項を参照。

記

■新年会の日程と会場
来年の新年会の日程などが、左記の通り決定しましたので、お知らせします。

日時／一月二五日(金)
午後六時から
会場／板橋ハイライフプラザ
会費／七、〇〇〇円
* 追ってご案内します。

記

■ホームカミングデー
一〇月二八日(日)に決まる

ホームカミングデーは、中央大学が学員会の協賛のもとに開催する、卒業生の集いです。

一〇時一五分からの開会式に引きつづいて、トークショー、講演会、スウィング部の演奏や応援部の演技、落語、福引抽選会、無料法律相談・年金相談などなど、盛りだくさんのイベントが用意されています。

板橋区支部では、今年も専用バスを仕立てて、多摩キャンパスを訪問します。高島平駅前、常盤台駅・三井住友銀行前、板橋区役所前を経由していきますので、参加ご希望の方は、同封の「案内」を参照の上、早めにお申し込みください。

先着二八名限定です。



▲ 熱演する母校応援部の後輩たち

■会費納入のお願い

今年度の支部会費が未納の方は、同封の振込用紙で納入くださるようお願いいたします。

(公計幹事)

■会員勧誘のお願い

支部事業計画のひとつに「会員増強運動」があります。

縁あって中央大学に学んだ学友の「板橋白門会」への入会を誘ってください。

各種の行事や趣味を通じて、交友の輪を広げるのを働きかけてくださるよう、お願いいたします。

(事務局)

ブロック紹介

①「高島平ブロック」

■平成一〇年にブロック制発足

支部創立一〇周年を記念して、初の「正・副ブロック長会議」が開催されたのが、平成一〇年一月一七日でした。高島平からは中路ブロック長（現・監事）と竹田副ブロック長が出席しています。高島平、三園、新河岸に住む三四名がメンバーで、支部活動にも、積極的に協力しています。

現ブロック長の竹田さんのお話を、新高島平駅横の「ガトーマスタ」で伺いました。アツルバイで有名なこの店は、最近発売された「板橋区ウォーカー」でも、スイーツ部門第一位に選出されていて、人気上昇中です。

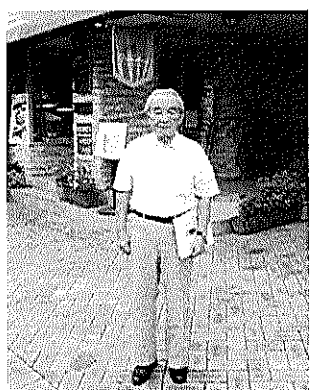
「ヒマ人が多いせいとか、喫茶店・イヴを拠点にして、結束が固い。自己主張の強いメンバーが少ないこともあって、毎週土曜日の集まりには、他ブロックからの飛び入りも多く、先日の暑気払いの会にも三名ほど参加してくれました」

今号から登場した「新シリーズ」です。観桜会や忘年会など、支部活動の中心を担っている11のブロックを、順次紹介していきます。

■新河岸川にカマイルカも

このブロックの居心地のよさにひかれた訳ではないでしょうが、この八月八日には、東京湾からカマイルカも迷い込んできて、新河岸川周辺は騒然となりました。わずかに四、五日のお披露目で終わってしまい、一三日に死亡が確認されたのは、残念な出来事でした。

三年前の「都立赤塚公園」での観桜会も、好天と満開のツキに恵まれ、大いに盛り上がりました。今や支部行事に昇格した忘年会にしても、「イヴの会」有志の集まりが発端になっています。



▶「ガトーマスタ」前の竹田さん

「いたばし花火大会」でも、地元は盛り上がります。毎年八月第一土曜日に開催され、長大な広がり「大ナイアガラの滝」が、最大のウリといえます。

■名所・名店も目白押し

このところ評価を高めているのが「板橋区ほたる飼育施設（高島平四丁目）。シーズンの土・日には、子供づれの見学者が列を成しています。ほかにも「熱帯環境植物館」（高島平八丁目）、前出の「赤塚公園」や近くのケヤキ並木が、訪れる人々の心を癒してくれます。

「ガトーマスタ」のほか、「板橋区ウォーカー」で紹介されているうまいもの屋を、列記してみます。本格中国料理「菜遊季」（高島平九丁目）、中華そば「戎」・手打ちつけ麺「欣家」（高島平一丁目）、スイーツ「ボワソールージュ」（高島平二丁目）、レトロな洋食店「キッチンオリエント」（高島平七丁目）、「とり鉄・高島平店」（八丁目）、中国料理「王華」・カレーハウス「インディア」（高島平一丁目）、喫茶「セルクル」（高島平二丁目）などです。

（金子記）

TOPICS

「誠の碑」建立に奔走

☆☆☆

●去る二月六日、東武東上線の常盤台駅構内に進入した自殺願望の女性を救助しようとして、不慮の死を遂げた宮本邦彦警部の霊を慰める碑が、このほど完成した。六月一六日に遺族はじめ関係者が参集して、除幕式が行なわれた。



●慰霊碑は須田幸男さん（板橋白門会・常盤台副ブロック長）ほか一町会会長が発起人となり、事故直後から精力的に奔走して完成をみたもので、いい仕事をされ、ご苦労様でした。

（平山記）

同好会三コース

■ゴルフ同好会

三月二七日(火)、栃木県佐野市の太平洋アソシエイツ佐野ヒルクレストコースで行なわれた、春の白門板橋ゴルフコンペの結果は、左記の通りでした。

優勝 吉野千鶴
準優勝 山田八之
三位 藤野 守

なお、秋の大会は、一〇月七日(水)、ノーザンカントリー錦ヶ原ゴルフ場で開催されます。幹事は、吉野さんと原田さんです。

■カラオケ同好会

会場をグリーンホール地下一階のレストラン・サンイチに移して二年余、参加者が着実に増えています。会費の割には料理も飲み物も豊富ですし、貸切の個室で思い切りカラオケを楽しめるのが、評判を高めているようです。

本年度も、五月一日の第一回例会に続いて、一〇月二二日(金)に第二回例会がレストラン・サンイチで開催されます。



▲カラオケ同好会の愉快的仲間たち

■パソコン同好会

毎月二回を目標に、板橋ハイライフプラザ一階会議室で、初心者講習会を開いています。

六・七・九月(八月は夏休みでした)は、ワード、文章・図形・表の作成などを研修し、毎回一三名ほどが参加しました。

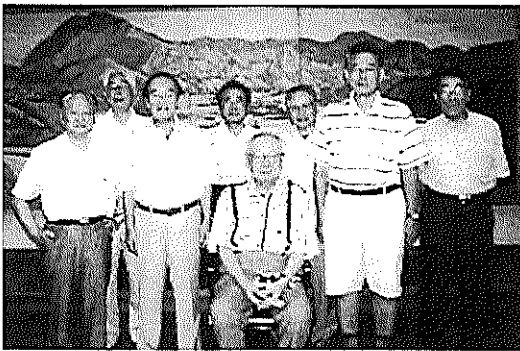
一〇・十一月は、年賀状の作成をメインにした講習が予定されています。お勉強のあとの呑み会にも多数が参加しています。関心のある方は、世話人の吉岡さん(☎三九三六・八三一五)までご連絡ください。

また姉妹組織にホームページ研修会があります。六月の総会で承認いただき、近々「板橋白門会ホームページ」を、正式に立ち上げる予定です。

パソコンの申し子といっても過言でない山本仁二さんが、初心者ぞろいのホームページ委員を、根気よく指導してくださった賜物です。完成の暁には、どうぞ皆さんアクセスしてください。そしてご意見・感想もどうぞ。(二宅記)

■囲碁同好会

毎月第四土曜日に、二〇名ほどの会員が参加して、定例月例会を



▲越後屋旅館囲碁合宿の参加者たち

開催しています。「西池袋囲碁サロン」(☎三九八五・三二八〇)に一時に集合して五く六対局し、持ち点制で優勝・準優勝者を決定しています。当日会費は三〇〇円、サロン入場料七〇〇円です。

夏には毎年、一泊の囲碁合宿を実施しています。今年も、七月二九く三〇日に秩父・越後屋旅館で行ない、八名が参加しました。

初心者大歓迎で新入会員を募集中です。定例月例会の当日「西池袋囲碁サロン」にお越しいただくか、事務局の布施さん(☎三九六七・一六九三)までご連絡ください。

■新入会員紹介

▽倉田継雄(くらたつぎお)

三二年商学部卒

松戸市栗山一七六一

趣味/旅行、カメラ

◎

▽安井賢光(やすいけんこう)

四七年法学部卒

川口市本町二ノ二ノ一五ノ

五〇五

板橋区役所副区長

趣味/テニス

■白門作家シリーズ

「北方謙三文学」拾い読み



『煤煙』

著者／北方謙三

発行所／株式会社 講談社

■著者プロフィール

一九四七年、佐賀県生まれ。

中央大学法学部出身。本コーナーには、『擬態』について二度目の登場。

ハードボイルド小説から歴史小説にも挑んで柴田錬三郎賞受賞。

さらに近年では『三国志』など中国小説での活躍も目覚ましく、二〇〇四年に『楊家将』で吉川英治

文学賞、〇五年には『水滸伝』（全一九巻）で司馬遼太郎賞に輝いたことは、皆さんご存じの通り。いまや逢坂剛とともに、白門出身作家の双璧をなす存在である。

本書は「小説現代」に二〇〇一年七月号から〇三年五月号まで連

載された作品で、『楊家将』と『水滸伝』の連載と同時進行で執筆されており、そのエネルギーには驚嘆するばかりである。

物語の主人公は青井正志、四〇歳。職業は弁護士である。

国立大学の現役で司法試験に合格し、将来を嘱望された新進気鋭のエリートだったが、一人娘を残して離婚。所属事務所からも離脱して、小さな船とILDKの部屋を往復し、友人の弁護士から回ってくる仕事で生計を立てる一匹狼の道を自ら選択する。



（中略）

途中で、酒と食材を買った。船に戻ると、私は炊飯器をセットし、飯が炊きあがるまで、フライブリッジに昇って、航海計器の点検をした。すでに薄暗くなり、明かりも点けているので、調理用の電熱プレートを使うと、ブレイカーが落ちる。

航海計器に異状はなにもなかった。私は船室に戻った。炊飯器はようやく湯気を噴きはじめた。

私は学生のように、今日のノートの整理をはじめた。

ひとりの、ごく普通の人間が、なんの責任もなく、一生かかっても払い切れないような慰謝料を抱えさせられる。その姿が、ノートに浮かびあがってきた。

（中略）
社会の通念になっっているもの、既成の価値観、道徳的思想、そんなものすべてを、ぶち壊したいだけなのだ。

交通事故で車にハネられた患者を誤診した病院を相手に、慰謝料を取り、車でハネた加害者の代理

人として、一生働いても支払えない莫大な慰謝料請求を如何に回避するかを腐心する。まさに既成の価値観、道徳的思想へ挑む物語である。

（平山記）

○●大相撲七月場所

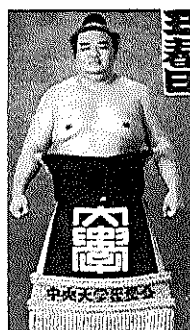
中大出身力士星取表

最古参・玉春日踏ん張る

▽出島（武蔵川）

本名・出島武春 平8卒
東前頭2枚目 5勝10敗

玉春日



▽豪風（尾車）

本名・成田 旭 平14卒
東前頭3枚目 4勝11敗

▽玉春日（片男波）

本名・松本良一 平6卒
西前頭15枚目 8勝7敗

▽舛光理（千賀ノ浦）

本名・荒井光理 平17中退
三段目東19枚目4勝3敗

（池田記）

■昭和三三年から現在の地名に

江戸時代は、このあたりを金井窪村といい、中央に雑司ヶ谷道が通っていた。明治二年の市制町村制のとき、板橋町大字金井窪になり、昭和七年に板橋町二丁目になった。さらに昭和三三年三月一

地名の由来…②〇

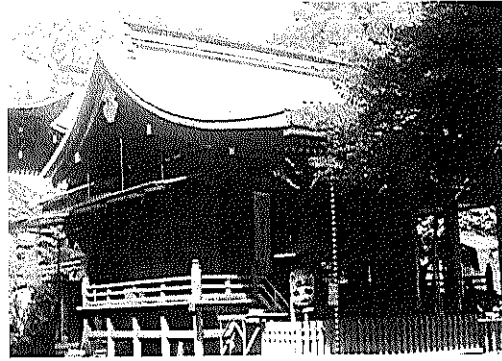
「大山金井町」の巻

日、町名地番変更により、現在の大山金井町となったのです。

この町名の由来は、大山と金井町に分けて考えられる。大山については、『板橋区支部十年の歩み』の中で触れられているように、「大山詣での垢離場（こりば）などゆ

かりのものがあつたから」というものと、清水治男先輩（昭和一八年卒）が言われるように、

「建物があまりなかつた頃には、石神井川の方からみると、今の養育院あたりは、大きな山にみえたから」という説があるようようです。



▲子易神社本殿

金井町についても調べてみました。金井は一般的には、鉄分の多い井戸のあるところを言います。金鑄、金谷、金子なども、鍛冶、鋳物、製鉄と関係ある土地と言われています。また、このあたりは沢蟹が多かったので「カニが窪」が訛つて金井窪となったという説や、谷

端川付近の田んぼ地帯に中井という小字があり、茶色の鉄気（かなげ）のある水が湧いていたので、金井と言うようになったという説もあります。「窪」が「久保」と書かれる場合もありましたが、明治五年以降「久保」は使われていません。現在では「窪」も行政地名としては使われていません。どうしてなのでしょう。

「クボイ」には、劣っている、安っぽい、鈍いの意味があり、「クボクミル」には、見下す、軽蔑するの意味がある。漢字の「窪」にも、落ち込んで、低く、凹んでいる所という意味がある、と清水先輩は話されます。やはり「クボ」が持っているマイナスのイメージが嫌われて、使われなくなったのでしょう。

■子易神社がかつての村の鎮守

現在の町名で板橋二丁目にある子易神社が、金井窪村の鎮守でした。長岡式部宮司のお話では、社（やしろ）を昔のままにしているのは、懐かしがってくれる人々がいるからだそうです。

また神社南の踏切の所に、昭和

二〇年四月一五日まで、東上線の金井窪駅があつたそうです。（中三川孝幸記）

編集後記

●記録破りの猛暑は峠を越したようですが、編集作業もあと数歩で、めざす校了地点まで、到達できそうです。七人の編集スタッフで頑張りました。とくに暑いさなか、取材・撮影、原稿執筆に注力してくださった中三川さんには感謝あるのみです。

●この猛暑は、私のガーデニング・ライフにも、多大の影響をもたらしました。高島平五丁目区民農園での水遣りには苦勞しましたし、蚊の猛襲にも閉口しました。夏野菜の出来がまあまあだったのが救いといえます。

●それにしても、地球のこれからはどうなっていくのでしょうか。異常気象の拡大が不気味です。可愛い孫娘の将来を思うと、地球の温暖化が、一日でも早く食い止められることを、願ってやみません。（金子記）